

H25.11.9

勃起不全と男性ホルモン



長尾和宏（ながお・かずひろ） 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。医学博士。近著「平穀死・10の条件」「胃ろう」という選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。55歳。

ED（勃起不全）の患者さんが増えています。町医者をしていてもそう感じます。30～50歳の男性が奥さんや彼女に連れられて診察室に入ってくることがあります。男性は照れ臭そうに少しつむき加減。ご両人の男性ホルモン（テストステロン値）を測定すれば、女性の男性ホルモン値が男性よりも高いのではないかと思われます。「草食系男子、肉食系女子」なんて言



「男性医療」シリーズ④

しかしEDとインボテンツは似て非なるものです。インボテンツとは、事故や病気で勃起機能が完全に喪失した状態。一方、EDは勃起補助薬の服用で機能が回復します。

われる時代ですが、まさに言い得て妙。診察室でも本当にそのような時代だと感じます。少子化が止まらないはずです。少子化が止まらないはずです。少子化が止まらないはずです。

わが国のED患者数は1100万人だそうです。すごい数字です。EDと聞いて「なんだ、インボテンツか」と思われる人が多いでしょか。

EDは脳梗塞や心筋梗塞の前兆？

（ED）」の違いを知つておいてください。当院でもバイアグラなどの勃起補助薬を処方しますが、自費診療です。ネット販売などでは偽物もあります。必ず医療機関で処方してもらいましょう。

（ED）」の違いを知つておいてください。当院でもバイアグラなどの勃起補助薬を処方しますが、自費診療です。ネット販売などでは偽物もあります。必ず医療機関で処方してもらいましょう。

最近の研究で、EDは脳梗塞や心筋梗塞と深く関係するところが分かつきました。脳梗塞や心筋梗塞を起こした人に聞いてみてください。「病気で倒れる前からEDだった」という人が実際に多いのです。

たかがEDと思っていたら



バイアグラ。元来、心臓の血管を改善する目的で開発されたが、陰茎の血流も改善して勃起しやすくなるため、勃起補助薬として臨床導入された。ほかのED補助薬として、レビトラ、シアリスという薬が広く使われている。

最近、「男性医療を何とかしてほしい」という思いが強くなりつきました。日本の男性は生まれつき女性より7歳に短命なうえに、1100万人も短命なうえに、1100万人もEDで悩んでいるのです。私のような町医者もEDの方のお役に立ちたいのですが、医療機関や薬局の受付などのスタッフは女性が大半。男性患者さんからすれば、EDでの受診の大きな障壁になります。

現象ではありません。EDは性トイレなどにそつと置いておき、診察室で出してもらおうといふような工夫をしていま

すが、もっとよい方法を考え

ないといけません。最近、人

に会うたび、その人のテスト

ステロン値を想像するのが癖

になりました。値が低い人

は、上げる生活に変えていく

必要があるようです。詳しく

は次回に説明します。